

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	33-2	
PDCA	主要事業名		図書館資料整備事業		部課名		教育部図書館		担当		竹内由香	
										内線		23-7171
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 1 単位施策： 学びの推進											
	全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 33,291 千円											
	会計		一般会計				歳出科目： 09.05.03.02.02					
	事業概要等		事業概要： 利用者のニーズに合った図書資料を幅広く整備するとともに、地域情報の集約場所としての機能を維持し、魅力ある図書館づくりを行う。また、子ども読書活動推進計画に基づき、電子書籍を含む児童図書の充実を図るとともに、市内小中学校との連携を進める。障がいのある方や高齢者、外国籍の市民等にも配慮した資料の収集や、電子書籍の利用拡大など、読書の機会拡充に努める。									
			事業目的： 幅広い年齢層の利用者にとっての魅力ある図書資料及び電子書籍を充実させ情報提供に努めることで、市民の学びを支える。									
			事業内容： 一般図書、児童図書、視聴覚資料、新聞、電子書籍等について司書が内容を確認し購入する。									
			問題点・課題等： コロナ禍以降、回復の兆しを見せてはいるものの、図書館利用者数、貸出点数が減少傾向にある。									
	予算額		主要事業とする理由									
	33,291 千円		公共図書館として、市民の知的好奇心を満たし、生涯を通じて学び続けられるよう、ニーズにあった幅広い図書資料を整備する必要があるため。									
	財源内訳		得られる成果									
	市費 32,099 千円		より多くの市民の学びの支えとなる。									
国費 0 千円												
県費 0 千円												
その他 1,192 千円												
D 値得られた成果と実績	決算額		得られた成果									
	8,422 千円		各種講座やイベントなどコロナ禍以前の運営形態に戻すとともに、内容を見直すなどした結果、より多くの市民の参加があり目標値を上回ることができ、図書館の利用促進につながることができた。									
			成果指標								令和5年度	単位
			市民一人当たりの貸出点数（図書）				実績値	6.9		点		
			※電子書籍は含まず				目標値	7.5		点		
			電子書籍貸出点数				実績値	25,724		冊		
							目標値	18,000		冊		
	C 課題の整理	事業の評価・課題		新刊購入のほか、古くなった良書の買い替えや、児童生徒向けの多言語資料、高齢者向け紙芝居の購入を積極的に行う等、全世代に向けた資料の充実を心掛け、提供に努めることができた。特に、電子書籍については、複数の利用者が同時に閲覧できる環境を整えるなど、学校タブレットを有効利用した読書活動につながっている。図書館界では全国的に貸出冊数の減少が問題となっているが、当館でも例外ではない。特に利用の少ない高校生から働く世代、また外国にルーツのある人たちに知識・情報提供ができるようより興味を持たれる選書の実施・サービス提供の方法の見直しを行う必要がある。								
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性		改善推進									
			紙資料の充実を語ることはもちろんであるが、利用登録のオンライン化の模索・電子図書館の充実など、非来館型サービスの提供を拡充することで、新しい利用者を開拓し、学びの提供を行えるよう努める。子ども読書活動推進計画に従い、乳幼児から中学生までを対象とした年齢に応じた資料の充実のほか、国籍や障がいに影響されない学びを得られるよう、資料の提供や読書環境の整備を行っていく。									
			必要性		有効性				効率性			
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 中程度		⑦コスト削減 減余地		ない			
観点別評価		②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある		⑧受益者負担適正化余地		ない				
		③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない								

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用